

凍結路面を想定した運転

～ 冬道は、焦らず、急がず、出し過ぎず ～

冬の交通安全運動 11月11日～11月20日

- 穏やかな発進・二段階減速（早目の減速）を体にクセづけておきましょう
- 乾燥路面でも、『今、路面が凍結していたら…』と考え、車間距離を確保しましょう
- ブレーキとハンドルを同時に操作せず、しっかり減速した後に、ハンドル操作をしましょう

事故で娘失った母が、高校生に講演

2018年11月15日 19時31分

15年前、交通事故で当時中学生だった娘を亡くした母親が、命の大切さを学んでもらおうと釧路市の学校で講演を行いました。

空知管内に住む女性（48）は15年前、中学3年生だった長女をトラックとの衝突事故で亡くしました。

女性は釧路市の武修館中学高等学校で生徒たち400人あまりに対して、「命の大切さを学ぶ」と題して講演を行い、「長女を奪われた悔しさや悲しみは続いています」と振り返りました。

そして、「ここにいる誰も被害者にも加害者にもなってほしくありません。

『自分だけは大丈夫』という慢心を持たず、自転車に乗る時や、車の免許を取ってから運転をする時は気を付けてほしいです」と語りかけました。

講演を聞いた高校2年生の男子生徒は、「交通事故のニュースは聞き流すことが多かったけれども、直接お話を聞いたことで命は重いということを感じました」と話していました。

また中学2年生の女子生徒は、「もし今、自分が死んでしまったら、親がどういう気持ちになるか考えさせられました。事故に遭わないように気をつけたいです」と話していました。

車と歩行者の死亡事故、半数が横断歩道以外で

運転手は、横断歩道で歩行者優先を徹底

歩行者は、ルールを守り、横断歩道を渡る

2018/11/15(木) 20:50

警察庁が昨年までの5年間に全国で発生した車と歩行者の死亡事故計6576件を分析したところ、半数にあたる3304件は歩行者が道路を横断中に、横断歩道以外で発生していた。横断歩道上は1507件で、うち信号機がない横断歩道で472件起きていた。

道路交通法は、歩行者がいけないことが明らかな場合を除き、横断歩道に接近する車は直前で停止できる速度で走行するよう義務づけている。だが、信号機のない横断歩道で起きた事故で、ドライバーが歩行者を認知した時点の速度は時速40～60キロが大半を占めた。

22～28日を全国一斉の広報期間と位置づけ、運転手は横断歩道で歩行者優先を徹底すると同時に、歩行者にもルールを守り、横断歩道を渡るよう呼びかける。